



# プロモーションアドバイザー事業をご活用ください！

(一財) 自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 笹川 真希

## アドバイザーがお悩み解決します！

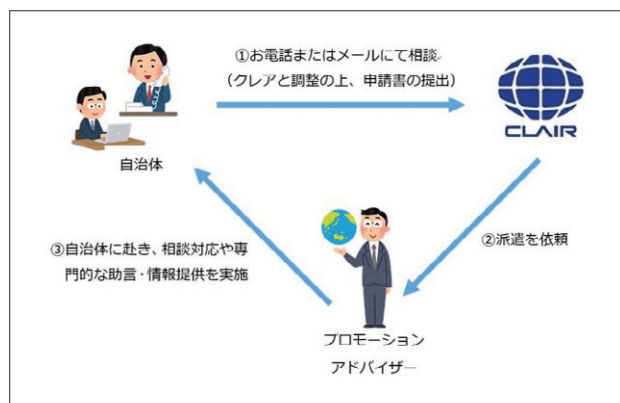
クレアでは、自治体の海外プロモーションなどに関するお悩みを解決するために、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー、以下PA）を派遣する事業を実施しており、大変好評をいただいています。

自治体の皆様の「地域の魅力はわかっているが、海外への発信方法がわからない!」「海外戦略ってどこから手を付けたらいいの?」といった疑問や「地元食材を海外に売り込む際のプロモーションについて助言がほしい」といった具体的な事例まで、さまざまな相談を承っています。

2020年度は12自治体に活用いただきました。

PAは2021年4月現在32社(名)登録されており、インバウンドプロモーションや地場産品の販路拡大をはじめ、MICE、クルーズ、ハラルなど専門性の高い分野についても対応できるのがこの事業の魅力の1つです。

今回はPA事業の事例を紹介します。



PA事業の流れ

そこで、同県への外国人訪問者数の中で最も多い中国、その中でも訪日旅行のリピーター率が高く、消費額も多い中間層～富裕層をターゲットに、観光コンテンツの磨き上げや効果的なプロモーションについて専門的な助言をもらうため、中国からのインバウンドに精通している、株式会社行楽ジャパン代表取締役社長 袁静氏を派遣しました。

10月に奥三河地域、11月には尾張、西三河地域を訪問し、観光施設や宿泊施設などを各回2日間にわたって視察しました。PA事業では1事業につき2回まで派遣が可能です。

### 〇派遣日程

|     |     |                                       |
|-----|-----|---------------------------------------|
| 第1回 | 1日目 | ・東栄町のき山学校 (naori 等)<br>・奥三河蒸留所<br>他2件 |
|     | 2日目 | ・茶臼山高原<br>・吟醸工房<br>他1件                |
| 第2回 | 1日目 | ・川見四季桜の里<br>・和紙のふるさと<br>・犬山城<br>他3件   |
|     | 2日目 | ・ラグーナテンボス<br>・変なホテル<br>他1件            |



施設内の視察の様子

## インバウンド目線で視察（愛知県）

愛知県は、名古屋市以外の県内のエリアにおいても、より多くの外国人旅行者を誘致したいと考えています。

奥三河では、観光を通じて心身ともに美しくなる「ビューティーツーリズム」の推進を図っています。現在は、日本国内向けに取り組んでいますが、インバウンド向けにも有効なコンテンツなのか、PA事業を通して

その可能性を探りました。

奥三河蒸留所では、ヒノキや杉、和ハッカなど、地元の森林資源を使用した最高級のエッセンシャルオイルを製造、販売するとともに、観光客向けにエッセンシャルオイル作りの体験も行っています。通常はこうした体験では乾燥したハーブを使用しますが、生のハーブを使用したオイル作り体験は奥三河蒸留所ではできないそうです。

この施設を視察した袁氏からは、中国の富裕層は特別感、プレミアム感を求めるので、生のハーブ体験は「ここでしかできない」ということを前面にPRするとよいとの意見がありました。また、インパクトのあるキャッチフレーズを使い、体験後に「エッセンシャルオイルマスター」といった独自の称号をあげる演出をしたらどうかと提案がありました。中国人富裕層は、知識を求めるため、単なる体験ではなく学びの要素を加えること、さらになぜここにしかできない体験なのかというストーリーを説明するとよいとの意見がありました。

また、アフターコロナを見据えた観点から、「今回のような三密を避けることのできる自然豊かなエリアがチャンス」であるとし、『ビューティーツーリズム』は、「各コンテンツのさらなるブラッシュアップをしつつ、時間をかけて成長させていけばインバウンドコンテンツとしての可能性が十分にある」と意見をいただきました。



エッセンシャルオイル作り体験をする袁氏

## 「田子にんにく」の海外販路開拓 (青森県田子町)・オンライン派遣

青森県田子町から、特産物である「田子にんにく」の海外での販売が可能かどうか、販売するにあたってどのような課題や改善が必要かアドバイスをいただきたいと依頼があり、PAのビンテージマネジメント株式会社代表取締役社長 安田哲氏をオンラインで派遣しました。

PA事業は2020年9月1日よりオンラインでの派遣が可能となりましたので、オンラインでの講演、相談に対応できます。自治体が申請できるのは1事業につき、原則4時間を上限としています。2回に分けて実施することも可能です。

### ○派遣日程

|                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時：2021年1月22日 16:00～18:00                                                              |
| 参加者：<br>〈自治体〉 田子町 担当者<br>〈PA〉 ビンテージマネジメント株式会社<br>代表取締役社長 安田哲氏 (@シンガポール)<br>自治体国際化協会 担当者 |



海外販路の開拓が期待される田子にんにく（青森県）

オンライン派遣当日に、冒頭、安田氏は田子町から「地元の行政と事業者が海外販路開拓に関する経験や知識が少ない」という相談を受けました。

安田氏は、田子町へ海外展開の取り組みを開始する前に、国内の黒にんにくとの差別化を行うことを提案しました。「シンガポールはじめ東南アジアにはすでに黒にんにくが流通しており、すでに競合がいる商品に関しては、差別化できるポイントが必要となる。外国の安い黒にんにくと同じ土俵で戦っても敵わないため「日本産」にんにくとして勝負することが重要であり、そのために



まずは国内の市場で差別化しなくてはならない。」と伝えました。

また、差別化後の次のステップとして、ライブコマースを活用したテストマーケティングを行うことも提案しました。ライブコマースは、人が渡航せず、商品の輸出入だけで実施することができるため、コロナ禍でも海外マーケティングができるというメリットがあります

オンライン派遣後、田子町の担当者は当初、現地での販売活動を考えていたそうですが、新たな手法としてネットやライブコマースの活用について知ることができたためこのオンライン相談を実施してよかったと感想をいただきました。

## オンラインクロストーク開催

2020年度は新型コロナウイルスの感染症の影響を鑑み、現地視察やオンライン派遣のほかに意見交換会として自治体数団体とPA数名を交え、オンラインクロストークを開催しました。

〇日程

日時：2020年12月2日 10:00～12:00

参加者：

〈自治体〉宮崎県、長野県

〈PA〉(株)コングレ 専務取締役執行役員

コンベンション事業本部長 紫富田薫氏

(株)JCプラン 常務取締役 宮井利之氏

自治体国際化協会 担当者



オンラインクロストークの様子

コロナ禍において、自治体はMICE誘致、インバウンド推進にどう取り組むべきかPAに伺ったところ、紫富田氏から次のような意見をいただきました。「これまでMICE主催者が開催地を選んでいたが、ハイブリッドでの開催が増えることで、オンラインで参加するのかリアルで参加するのかを参加者が選択することとなり、結果的に、開催地の魅力がより重要視されるようになった。観光地的な魅力だけでなく、ユニークベニューや会

議のテーマにマッチする視察先、会議とコラボした商品など、この場所このタイミングで参加するからこそ経験できる魅力を掘り起こし、情報発信していけば、ハイブリッドでの開催でも会場参加者を増やすことが可能ではないか。」

また宮井氏からは、「訪日客の目的をどのように達成させるか、その仕組みづくりをどのように行うかがポイント。自治体と民間業者が協力して、BtoCだけではなく、BtoBも視野に入れた受け皿を整備するとよいのでは。」と述べられた上で、やはりコロナ禍においては、リアルでなければ味わえない魅力をプロモーションすることが重要であるとの提言をいただきました。

## コロナ禍だからこそ今できることを！

コロナ禍において、インバウンド対策、海外販路開拓にどのように取り組んでいくべきか悩まれている自治体の声を多く聞きます。2021年度はPAの方々からはコロナ禍の今だからこそ、立ち止まらずに少しでも前進してほしいというご意見をいただいております。具体的な取り組みとしては「デジタルコンテンツを使ったプロモーションを工夫する」「アフターコロナに備えて地元コンテンツをブラッシュアップする」などが挙げられます。

## お気軽にご相談ください！

今回紹介した事例のほかにも各自治体への現地派遣、オンライン派遣を行っており、相談内容はさまざまです。



クレアのホームページに過去の事例、32社(名)のPA登録者の概要が掲載されておりますので、併せてご覧下さい。(左記QRコードからアクセスできます。)

PA派遣に要する経費は、原則としてクレアが負担しますので、まずは、お気軽にお問合せください。

### 【問い合わせ】

(一財)自治体国際化協会 交流支援部経済交流課  
PA事業担当 笹川

Tel：03-5213-1726/Fax：03-5213-1742

Email：keishin@clair.or.jp